2026 年 11 月
大阪府　商工労働部　大阪産業経済リサーチセンター

大阪経済の情勢（2026 年 9月指標を中心に）

「大阪経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している」

需要面では、個人消費は、持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、新車販売台数は増加。家電販売額は減少。家計消費支出（近畿;8月）は増加。投資は、持ち直しの動きがみられる。住宅投資は減少、非居住用建設投資は増加。公共投資は減少。輸出は、持ち直しの動きがみられる。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての主要地域向けで増加。輸入額は増加。

供給面では、生産動向は、持ち直しの兆しがみられる。大阪府（8月）は、生産、出荷はともに上昇。近畿の生産（8月）は低下。全国の生産（9月）は上昇。企業倒産では、件数、負債金額はともに改善。雇用は、持ち直しの動きが弱まっている。近畿の失業率は横ばい。有効求人倍率、新規求人倍率はともに上昇。所定外労働時間（8月）は上昇。

先行きでは、中東情勢による経済への影響や、世界の経済・金融の動向について、引き続き注意が必要。

需要

	総合	消費				投資		貿易・観光	
	一致CI（大阪）	大型小売店販売（大阪）	コンビニ販売（大阪）	家電販売（大阪）	新車販売（大阪）	新設住宅着工（大阪）	建築物着工（大阪）	輸出（近畿）	関空外国人旅客
9月		↗	↗	↘	↗	↘	↗	↗	↘
8月	↘	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↘

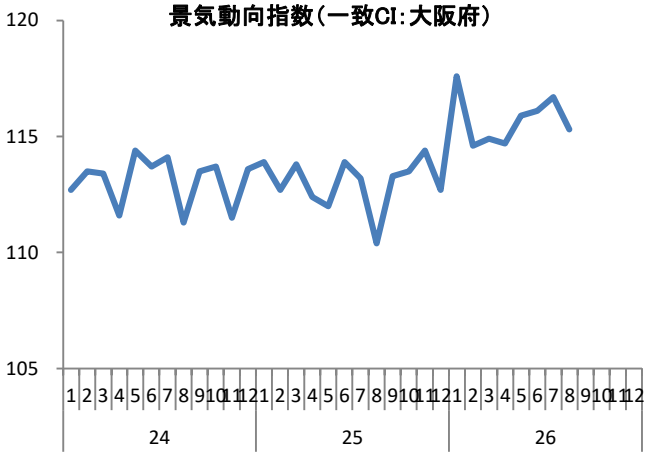
供給

	生産		倒産	雇用	
	生産指数（大阪）	生産指数（全国）	倒産件数*（大阪）	有効求人倍率（大阪）	失業率*（近畿）
9月		↗	↗	↗	→
8月	↗	↘	↘	↘	↘

*前年同月と比較し、上向きの矢印は「**景況改善**」、下向きの矢印は「**景況悪化**」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向きの矢印となる。

●景気動向指数(CI)

大阪府(8月)では、一致CI、先行CIはともに低下。大阪府(一致CI)では、主に「生産財出荷指数」「所定外労働時間指数（製造業）」などが低下に寄与。



（資料）大阪産業経済リサーチセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」 ※2020 年＝100

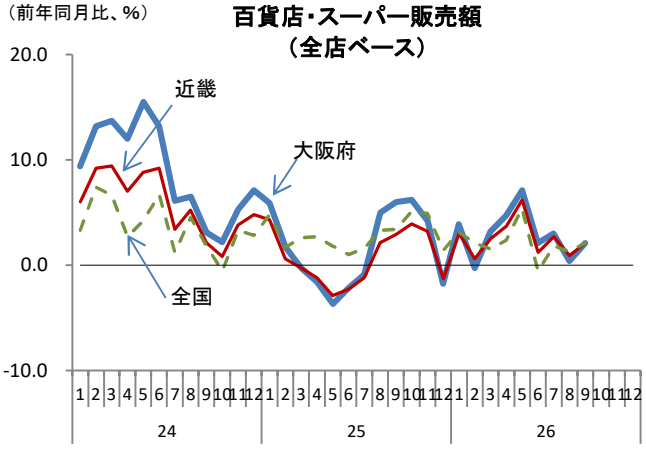
一致CIの個別系列の寄与度※（大阪府、8月速報）

百貨店売場面積当たり販売額	大阪税関管内輸入通関額	製造工業生産指数	生産財出荷指数	人件費比率（製造業）	有効求人倍率	所定外労働時間指数（製造業）
▲0.51	0.40	0.36	▲1.03	0.43	▲0.28	▲0.77

※CIの変化が、個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

●個人消費

個人消費は、持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、新車販売台数は増加。家電販売額は減少。家計消費支出（近畿;8 月）は増加。



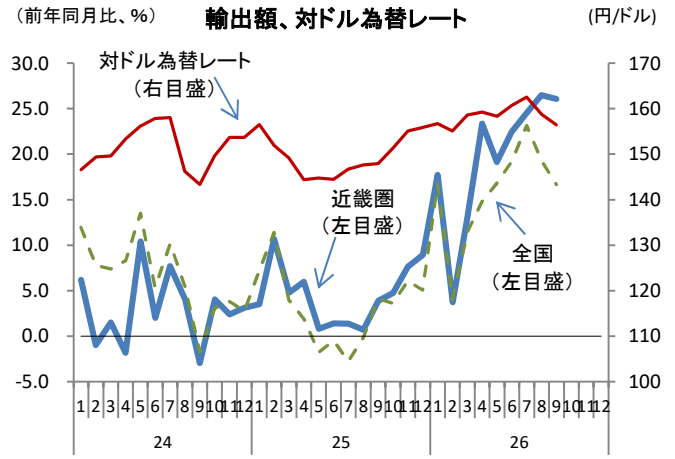
（資料）近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」

業態別の増減（大阪府、全店、前年同月比（%）、9月速報）

大型小売店　合計		2.1
うち	百貨店	2.0
	スーパー	2.2

●貿易

輸出は、持ち直しの動きがみられる。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての主要地域向けで増加。輸入額は増加。



（資料）大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」 ※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

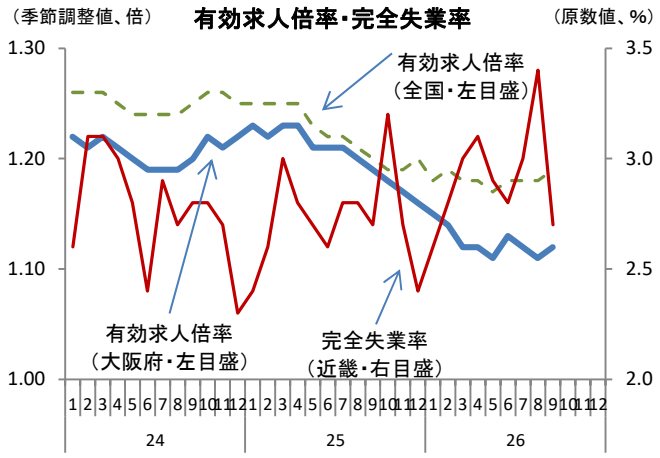
主要地域（国）別の増減（近畿、前年同月比（%）、9月）

アジア（含む中国）	36.4	7ヶ月連続の増加
中国	15.5	7ヶ月連続の増加
ASEAN	61.4	9ヶ月連続の増加
EU	5.3	2ヶ月ぶりの増加
アメリカ	11.3	7ヶ月連続の増加

（資料）大阪税関「近畿圏貿易概況・速報」

●雇用

雇用は、持ち直しの動きが弱まっている。近畿の失業率は横ばい。有効求人倍率、新規求人倍率はともに上昇。所定外労働時間（8月）は上昇。



（資料）厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」
※近畿の完全失業率は原数値。

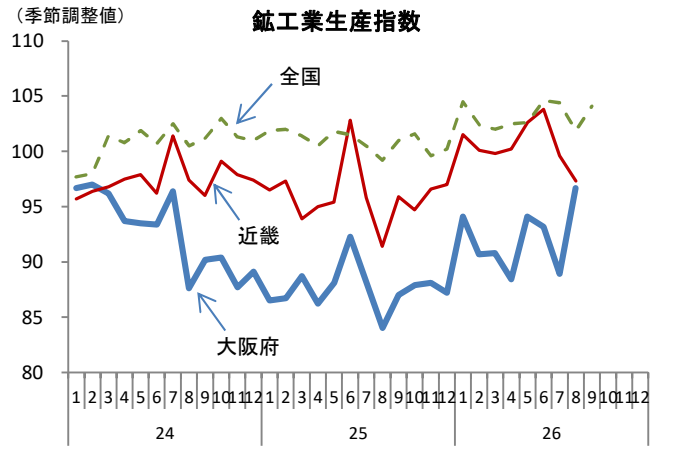
新規求人数の主要産業別増減（大阪府、前年同月比（%）、9月）

産業計	▲2.6
建設業	▲4.5
製造業	0.9
卸売業、小売業	▲9.7
宿泊業、飲食サービス業	▲5.7
医療、福祉	2.9

（資料）大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

●生産

生産動向は、持ち直しの兆しがみられる。大阪府（8月）では、生産、出荷はともに上昇。近畿の生産（8月）は低下。全国の生産（9月）は上昇。



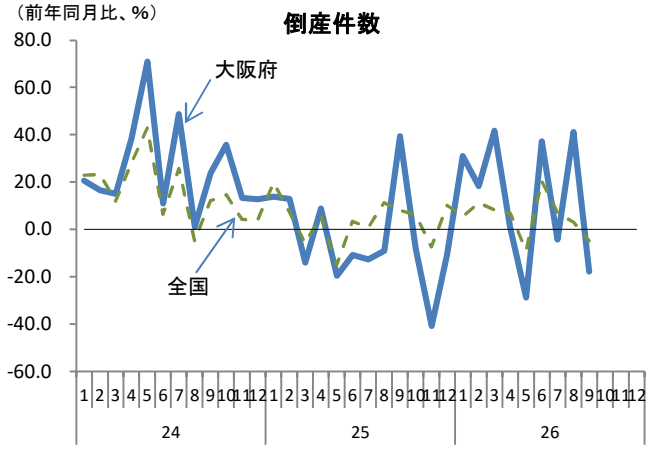
（資料）大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」 ※2020年=100。

産業別の主な変動（大阪府、前月比（%）、寄与度順、8月速報）

上昇	化学工業（64.8）：医薬品、化粧品 石油・石炭製品工業（7.9）：軽油、重油
低下	電気・情報通信機械工業（▲7.2）：セパレート形エアコン（室外）、電気測定器（除、半導体・IC測定器） 鉄鋼・非鉄金属工業（▲4.4）：アルミニウムはく、特殊鋼冷間仕上鋼材

●倒産

企業倒産では、件数、負債金額はともに改善。



（資料）東京商工リサーチ「倒産月報」

主な倒産（大阪府、9月）

業種	負債額（百万円）
駐車場装置企画販売ほか	2,341
駐車所運営ほか	1,176
環境機器販売・製造	500
建築工事ほか	412
眼鏡企画販売	400